

事務事業名		ふるさと・おおふなとお話大賞開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間	
	施策名	14 生涯学習の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成2 年度～)	
	基本事業名	02 学習機会の充実		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 5 4 21	
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	江刺 雄輝			
	係名	中央公民館	電話 26-3166		
	担当者	新沼 孝太	内線 432		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・青少年及び一般市民等がふるさとを舞台にした童話やお話を創作することにより、市民等の郷土愛を醸成し豊かな心を育む事業。 ・具体的な業務は以下の通り。 ① ふるさと・おおふなとお話大賞 ア.チラシ等で作品募集、イ.作品審査 ウ.表彰式 エ.作品集の刊行 ② おはなしづくり講習会(創作に活かすため、市内の史跡見学や各地域の伝承について学ぶ) ア.参加者募集 イ.学習活動の実施 ・事業費の主な用途は、報償費(審査員、入賞賞品、講師等)となっている。 特記事項 ・おはなしづくり講習会については、受講者数、及び受講者がその後お話大賞に応募した実績がごく少数に留まるため29年度以降は実施しない。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ふるさと・おおふなとお話大賞とおはなしづくり講習会  今年度計画(今年度に計画している主な活動) ふるさと・おおふなとお話大賞	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)	件	イ		ウ	
名称	単位								
ア 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)	件								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 大船渡市民等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 人口	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 人口	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) おはなしづくりを通じて、応募者の郷土愛と豊かな心が育まれる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)	件	シ		ス	
名称	単位								
サ 応募件数(ふるさと・おおふなとお話大賞)	件								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・学習意欲の啓発・向上がなされている。 ・主体的な学習活動が行われている。 ・学習成果が発揮されている。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">財源内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">年度</th> </tr> <tr> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(目標)</th> <th>30年度(目標)</th> <th>31年度(目標)</th> <th>32年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td>57</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>15</td> <td>111</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>72</td> <td>111</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>312</td> <td>351</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>件</td> <td>26</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>38167</td> <td>37633</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>26</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業費	財源内訳	単位	年度					27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	投入量	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円	57						地方債	千円							その他	千円							一般財源	千円	15	111	110	110	110	110	事業費計(A)	千円	72	111	110	110	110	110	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	60	60	60	60	60	60	人件費計(B)	千円	240	240	240	240	240	240	トータルコスト(A)+(B)	千円	312	351	350	350	350	350	⑤活動指標	ア	件	26	38	40	40	40	40	イ								ウ								⑥対象指標	カ	人	38167	37633	-	-	-	-	キ								ク								⑦成果指標	サ	件	26	38	40	40	40	40	シ								ス							
事業費	財源内訳				単位	年度																																																																																																																																																																						
		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)		30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)																																																																																																																																																																				
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																										
	都道府県支出金	千円	57																																																																																																																																																																									
	地方債	千円																																																																																																																																																																										
	その他	千円																																																																																																																																																																										
	一般財源	千円	15	111	110	110	110	110																																																																																																																																																																				
	事業費計(A)	千円	72	111	110	110	110	110																																																																																																																																																																				
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																				
	延べ業務時間	時間	60	60	60	60	60	60																																																																																																																																																																				
	人件費計(B)	千円	240	240	240	240	240	240																																																																																																																																																																				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	312	351	350	350	350	350																																																																																																																																																																				
⑤活動指標	ア	件	26	38	40	40	40	40																																																																																																																																																																				
	イ																																																																																																																																																																											
	ウ																																																																																																																																																																											
⑥対象指標	カ	人	38167	37633	-	-	-	-																																																																																																																																																																				
	キ																																																																																																																																																																											
	ク																																																																																																																																																																											
⑦成果指標	サ	件	26	38	40	40	40	40																																																																																																																																																																				
	シ																																																																																																																																																																											
	ス																																																																																																																																																																											

事務事業ID	1068	事務事業名	ふるさと・おおふなとお話大賞開催事業
--------	------	-------	--------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	三陸町内の読書推進事業の一環として、「さんりくおはなし大賞」の名称で平成2年に開始。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	三陸町内の読書推進事業として行われてきたが、大船渡市との合併で市立図書館にも類似事業があるため、平成28年度に事業目的等の見直しを実施。郷土愛醸成と青少年健全育成に事業目的を切り替え、名称を「ふるさと・おおふなとお話大賞」に変更した。なお東日本大震災により、三陸公民館が甚大な被害を受けたため、平成23年度から事業を中央公民館で実施することになった。 *事業内容変更に伴い26年度以降成果指標を算出できない状況にあり、今後も同じ状況が続く見込みのため28年度評価より指標を整理・変更した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	学校関係者や審査員等から「本を読んだ成果等を文章にまとめたりすることは大切なことなので継続してほしい」という要望がある。しかし、学校側にとっては、コンテスト関係が市立図書館と中央公民館の2箇所から募集がかかることになり、取り組みが大変であるという声も聞かれる。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ ふるさとが舞台のオリジナル作品を創作することで、市民等の郷土愛を醸成し、豊かな心を育むひとつづくりが図られている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市民等の心を育む本事業は、極めて公共性が高いため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 広く市民等を対象として豊かな心を育むことをねらいとするため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 引き続き過去の応募作品の市公式ホームページへの掲載を進め、市民等の閲覧に供する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市民等の郷土愛醸成と豊かな心を育むひとつづくりに支障を生ずる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) おはなしづくり講習会については、受講者数、及び受講者がその後お話大賞に応募した実績がごく少数に留まるため29年度以降は実施しないため。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) おはなしづくり講習会の廃止による業務時間削減分は過去の応募作品を市公式HPで公開する準備に充てるため。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 広く市民等を対象とした事業であるため、公平・公正性は担保されている。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	おはなしづくり講習会については、受講者数、及び受講者がその後お話大賞に応募した実績がごく少数に留まるため29年度以降は実施を取りやめる。また入賞作品の審査方法についても見直しを行い、審査委員の負担軽減を図る。なお、過去の応募作品の市公式HP掲載については29年度も引き続き作業を進めていく。	(2) 改革・改善による期待成果																								
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	過去の応募作品は膨大な数に及び、原稿の電子データが保存されていない年度が多くあるため、データ打ち込み時間を短縮する方策について検討が必要である。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×		×	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上	●																									
	維持			×																							
低下		×		×																							

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	作品の活用など、事業の成果をより広く社会に還元する必要がある。